

Ground Hills

Ground Hills 株式会社 事業紹介

- ・ 自己紹介
- ・ 企業理念
- ・ 具体的な事業内容
- ・ 自社製品ビジネスモデル（目標）
- ・ 企業の特徴とコラボ案
- ・ コラボモデル（目標）

代表取締役 土山 浄之

【自己紹介】

<概略>

- ・1964年 7月21日 生誕
静岡県 三島市 (現在58歳)
- ・1984年～ 東京在住
- ・1989年 自動車メーカー入社 横浜技術研究所配属 横浜在住
- ・2007年 本社技術研究所 : 広島に移住
- ・2021年 早期退職、Ground Hills (株) 起業

<保有技術>

- 電子技術のエンジニア (30年以上自動車電子制御開発に携わる)
 - > 半導体設計 : プロセッサ開発
 - > 電子回路設計 : 電子制御コントロールユニット開発
 - > 制御ソフトウェア : 組み込みソフトウェア、PCソフトウェア開発
- 機械加工 (ECU筐体設計等。3D-CAD使用)
 - > 木材加工、アルミ加工、樹脂加工
- 音響関係 (オーディオ関係は40年のキャリア)
 - > レコードプレーヤ構造設計 (販売経験あり)
 - > アンプ設計、製作、スピーカ設計、製作
 - > PCからコントロールする24chPAミキサー特注対応経験あり



Ground Hills 株式会社 企業理念

グランドヒルズ

Ground Hills

これからのマイホームは、在宅勤務のための集中できる仕事場、くつろぎの空間、家族団らんの場、バーチャル帰省・・・
これからの職場は、ネットによる遠隔会議や遠隔操作が定着し、情報力を重要視したクリーンな職場になっていく・・・

コロナが落ち着いても、それぞれの役割が多様化し、人が居る場所がいっそう大切になります。

人が過ごす大切な時間と、人が居る大切な場所で、気づかないうちに時に応じた快適さを提供していきます。

気づかないほど、快適に
for Quality Time and Quality Space

■お問合せ先

代表：土山 浄之（つちやま きよゆき）
住所：広島県広島市安芸区船越南4丁目9-41
電話：082-554-8326 / 090-8740-2005
Mail：tutiyama@groundhills.jp
URL：https://groundhills.jp

詳しくはこちらへ
<https://groundhills.jp>



休む時は
よりリラックス



仕事をする時は
より集中

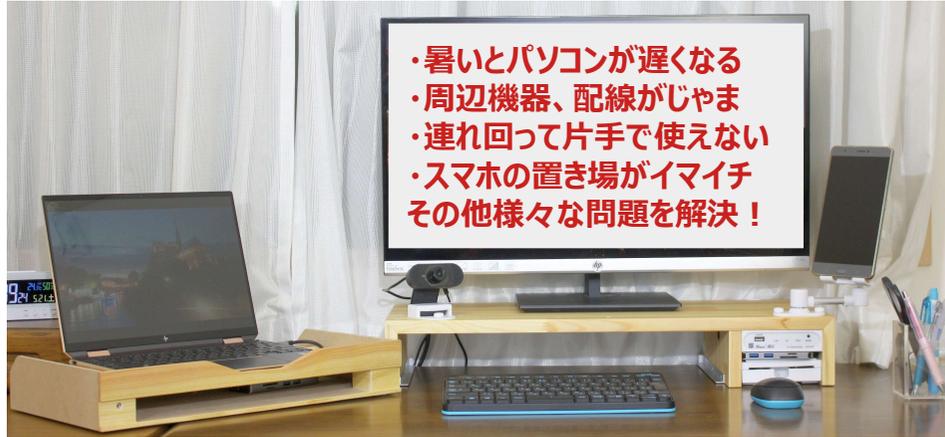
- ・自ら周囲環境や人の動き、時刻や季節等から最適な動作を実現するコンピュータ制御の雑貨や家具を開発・製造・販売する。
- ・従来と異なる視点や機能を持った雑貨を開発・製造・販売する。
- ・組込み型の電子制御機能を広く提供して、新しい領域の雑貨・家具を創造する。

【具体的な製品】

これまでにない 電子制御機能を内蔵した雑貨・家具の開発、製造、販売

【PCステーションボード：発売中】

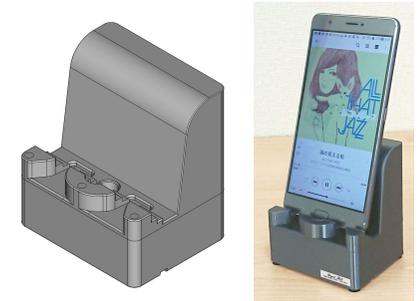
在宅勤務しようとしたら多くの問題を解決しないと・・・



【スマホスタンド2種類：発売開始】

強力磁石やクランプにより、垂直面、天井から肘掛けまで多彩な取付け

スマホを高音質化するスマホスタンド



レシピチェックや料理自撮り、職場、現場、新幹線、飛行機、アウトドアでネットも映画も・・・

デスクサイド、お風呂で音楽・・・日常をスマホと音楽とともに。

【Steam Defuser：開発開始（小規模事業者補助金申請中）】

コンロ以外多くの湯気が出る家電機器満載
なのに湯気対策は吸湿ボード程度・・・衛生的に大丈夫？



炊飯器、ポット等の後ろに置いて、湯気を自動的に拡散・乾燥する。
（各メーカーの家電製品と連動）

キッチンボード組込み例（試作品）

【エントランスステーションボード：開発予定】

気温・湿度・大気圧を測定し、自動的に内気循環や湿度をコントロールして乾燥・保管環境を実現するシューズボックス。
（合わせて要望された様々な機能を搭載）

エントランスステーションボード（試作品）

毎日通る玄関なのに・・・

- ちよこっと充電
- 暗くて見えない
- 革靴の保管は？
- 湿気、悪臭

通気性が良い！と言うただの箱



自動乾燥、自動ライト点灯等

自社製品ビジネスモデル (目標)

(1) 基本的な考え方

商品の企画、開発、組立、検査等のビジネスフローコントロールは自社で行う。製造、流通、販売は台数依存となるが、できる限りアウトソースする。

(2) 企画・開発設計

企画は全て自社で行うが、閉じたものではなく、様々な意見・要望・提案等を受け入れるオープンな企画を進める。

初期商品構成では全て自社開発できますが、今後5Gの普及により自社開発ができない機能(情報機器)が出現する可能性がある。(例：ローボードへのアレクサ、5Gルータの内蔵等)また、AI技術の活用も検討している。

従って、将来的には先端技術やPC関連機器メーカーとのコラボも検討していく。

(3) 販売～配送

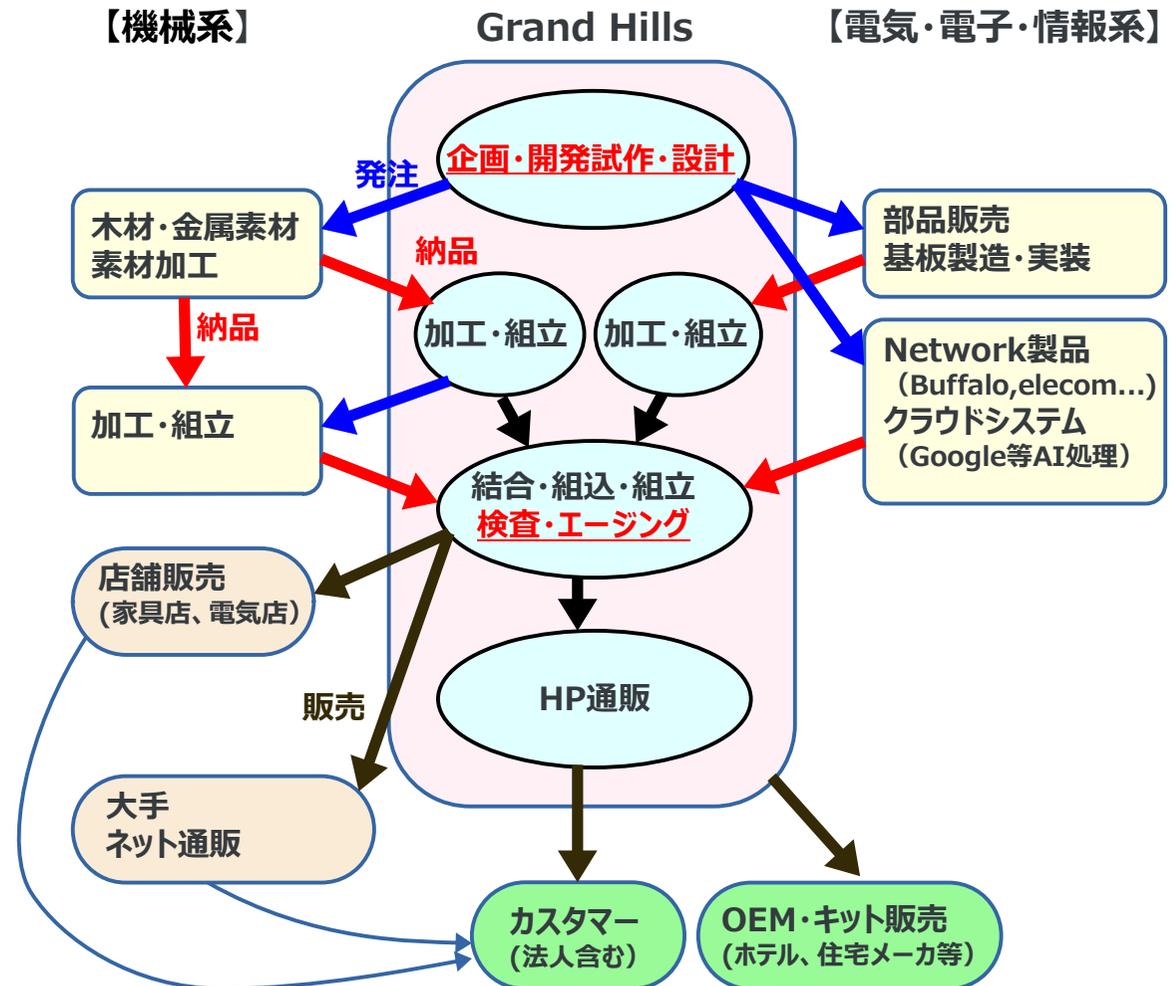
販売に関しては大手ネット通販の活用を含め、通信販売を主体とする予定。(現状：直販サイト、Amazon完了。Yahooストア構築中)

家具店・電気店・雑貨店の外部店舗販売は販売品を絞って順次展開していきたい。ただし自社店舗は保有しない予定。

(4) 出荷検査・エージング

最終的な品質検査等は自社で行う予定。

企画・開発と検査を自社で行い、製造・流通等をアウトソース、販売をネット通販とすることにより、ミニマム組織での製造業を構築する。



協業、共同開発、その他コラボレーション

【企画と商品のコラボ】

- 様々な起業・個人事業主の開発サポートや請け負いを行う。
- ハウスメーカーや雑貨・家具メーカーさんとコラボしたい。「うちの商品にこんな機能があればなあ。。。」
- Ground Hillsの機能をうちの商品にも入れたいという希望があれば是非コラボしたい。

【お客様とコラボ】

- お客様の声を多く持っている販売店とコラボし、そこからメーカーを巻き込んでいきたい。

【商品と資材のコラボ】

- 電子制御機能・システム開発に強いので、木材加工、金属加工、塗装等を受けていただけるのであればコラボしたい。
(単なる資材や加工発注ではなく、強みを活かした共同開発のようなイメージ)

Ground Hillsの企業の特徴

■ Ground Hillsの強み

- ① 電子制御機能（電子回路やソフトウェア）をシステムとして開発し、家具や雑貨の構造物に組み込む技術に優れる。
すなわち、柔軟に要求に答えて具現化することができる。
- ② 自社で企画・開発から製品設計・製造まで実施することが可能。（コンサルのみではなく実施が可能）
- ③ 様々な機能のアイデア発掘・企画力に優れる。（ステーションボード、Steam Defuser、乾燥下駄箱等）

■ Ground Hillsの弱み（悩み）

- ① 電子制御機能が加わることによる効果、価値がとても難解。説明しても複雑でよくわからない人が多い。
→ SNSや動画を展開中
- ② 今までにない新しい領域になる（電子制御家具とか電子制御雑貨は聞いたことがない）
→ 戦う土俵ができつつある＝ステルス家電

コラボレーション対応

(協業・共同・委託・支援等様々な対応が可能)

【特徴】

- ・製品開発・販売フローのうち、④の商品化まで支援・請け負いいずれも可能。
- ・製造からアフターサービスまでは請け負いはできないが支援可能。
- ・フローのうち、一部だけでも丸ごとでも対応可能。
- ・ワンストップで対応する（プロデューサーやディレクターではない）のため、リーズナブル。
(通常のコンサルティングとは異なり、実際に開発や試作を行う。)
- ・通常対応しないような小さなものでも対応。(まずは相談)

【対応分野・領域】

- ・電気を使った機能追加（動いたり、光ったり）
- ・小型機器の電子制御による環境調整（湿度・温度調整、空気流の制御等）
- ・木工製品や雑貨、設備や道具への機能組込み
- ・商品／製品から設備／道具まで対応

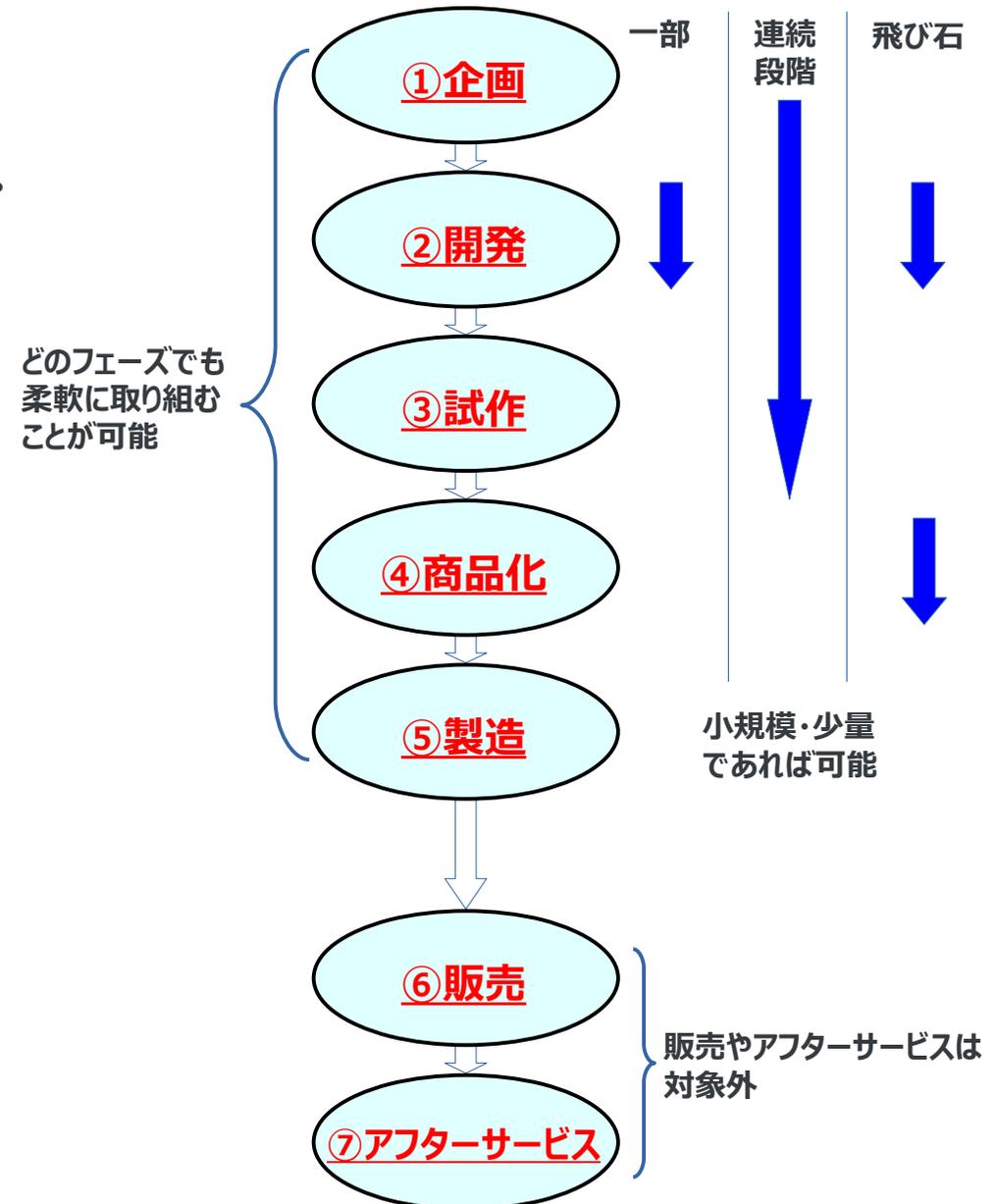
【具体例】

- ・装飾品にLEDを追加したいがどうやってやればいいのかわからない。
- ・過去の社員食堂からの依頼例：包丁台で、安全のため一定時間包丁が戻されなかったら音を出してほしい。ブザーはうるさいのでオルゴールのような音
- ・過去の依頼例：模型から音を出せるようにして販売したい。
- ・パソコンから操作できるPAミキサーが欲しい。
- ・オブジェを売っているんだが、間接照明や時計を追加したい。

商品の開発、設備や道具関係まで幅広く対応。
部分的な支援・請負いからワンストップ開発委託まで。
ほとんどを自社で行うことができるためリーズナブル。

法人のお客様とのコラボレーションフロー

対応のしかた（例）



3Dプリンタを活用した樹脂製品・部品製作サービス

【サービス内容】

- ・自社内で企画から製品化まで行っているため、ワンストップで対応可能。
- ・1個から対応可能
- ・イメージの具体化から造形までどの段階でも対応可能。
 - ＞お客様からイメージを伺い、設計から造形まで行う
 - ＞お客様からモデルデータを頂き、造形だけを行う
- ・色や個数その他については相談（3Dプリンタは弊社開発・製造と共用します。）



どの段階でも対応可能。3D-CADによる設計のみも可能。

まずはご相談（無料）から。

※造形可能なもの、不可能なもの等ございますので、まずはご相談ください。

【使用する3Dプリンタ】

日本3Dプリンター株式会社 製 Raise3D E2

材料（素材） 相談して決定。弊社としてはSDGs対応のため、微生物により分解されるPLA（生分解プラスチック）を推奨します。